

ないからこそ

できる！ 小瀬高校

1 生徒数が少ないからこそ、きめ細やかな進路指導ができる！



常陸大宮市役所に
就職が決まりました！

3年 仁瓶ひかり (御前山中出身)

小瀬高校では全教職員が
面接の指導にあたります。
多い生徒は20回近く、担任から
校長先生にまで面接練習をお願いに行き、
自信をつけて本番に臨みます。



進路指導主事 高橋直也

2 もったいない！その才能開花させることができる！



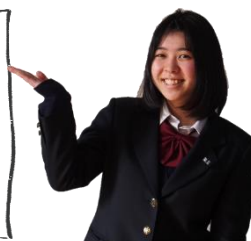
野球が好きならプレーできなきゃ意味がない！
少人数だからこそ、全員活躍の野球部です。
水郡地区大会で準優勝しました！

先生に声をかけられて挑戦しました。
花生けは初めてだったけど、地域の枝物部会のみさんの
花材提供や応援により全国大会でも活躍できました！



3 交通手段がない！？いや、バイク通学もできる！※電車&バス通学も可能です！

1年生の11月からバイク登校しています。
学校まで20キロありますが、自分のペースで
登下校できるので部活や学習に支障がなく
助かっています。



3年 小野瀬陽香 (大子南中出身)

月1回のバイク許可式には保護者の方にも来ていただいてバイク通学の心得を確認しています。
バイクチェックもまめに実施。毎年2年生を対象に教習所でのバイク講習も行っています。
※バイク通学は部活動所属生徒か通学距離が4キロ以上の生徒に限ります。



福祉コースを卒業し、地元福祉施設で活躍する卒業生。4月から福祉施設への就職が決まっている3年生。これから自分の進路と向き合う2年生。本音をふつけ合いながら福祉の魅力と未来の自分について語りました。

——福祉コースを選んだ理由は？

高野：明峰中出身なのですが、中高連携の行事などで福祉コースを知り、その時に福祉を学びたいと思いました。

石崎：私は祖父の介護を経験し福祉に興味を持っていた頃、小瀬高校にいた姉が福祉コースについて教えてくれて、将来は高齢者を支えたいと思い福祉コースに入ることを決めました。

河又：小学生の頃から「笑顔あふれる介護士になりたい」という夢を持っていました。

石崎杏奈（3年・御前山中出身）
ケアステーション城里に就職内定。
無人島に何か持って行くとしたら
サメのぬいぐるみたち。



中学生の頃にも福祉施設のボランティアに参加し、介護をやりたいという思いから、今もこの仕事を続けています。

——福祉コースを選ん

でよかった？

高野：入る前は実習など急に難しいことをやるのかなと不安もあったのですが、入ってみて細かいところまで丁寧に教えてくれるので

福祉でつなぐ

地域と私たちの未来



～福祉コース三世代特別対談～

楽しいです。

石崎：病気の症状など専門的な知識も学ぶので、スーパーなどで高齢者の方と会っても今までとは違う視点で見ることができるのが面白いです。

——「福祉コースあるある」を教えて！

河又：先生のギャグや歌のモノマネですかね。

石崎：確かに！あるある。（笑）

高野：歌は知らなかった！

河又：愛理ちゃん（高野）から先生にふつとみるとやってくれるよ。（笑）

——福祉コースの和やかな雰囲気伝わってくるね。

高野：確かに和やかですね。

私の学年の福祉コースは5人しかいませんが、授業の時もいつも笑いが絶えません。

——せっかくの機会なので、先輩に聞いてみたいことある？

高野：私は人見知りなのですが職員の方や利用者さんとはどのようにコミュニケーションをとっていますか？

河又：実は私も人見知りだったので、不安に思いながら就職したんですが、介護は話さなきゃいけない仕事だから、やっていくうちにだんだん話せるようになりました。

中学生で福祉に興味がある方は、ぜひ小瀬高校で福祉を学んで、将来は一緒に良い介護施設をつくっていただけたらと思います。



河又愛美（H28年度卒業）
特別養護老人ホームみわ勤務。
ストレス解消法はスポーツ。
小瀬高バレー部の頼もしい助っ人。



高野愛理（2年・明峰中出身）
バレーボール部に所属。
最近ハマっているのは
日本ハム杉谷拳士選手。



共に二次試験合格により入学した河野兄弟。特進コースに入り、国公立大学合格を目指した兄・龍星。教養コースに入り、野球部主将として部活動に打ち込むことを選んだ弟・将真。小瀬高校で歩んだ軌跡をたどります。



河野龍星 (H30年度卒業)
茨城大学 工学部 物質科学工学科
好きな食べ物はカツオ。
最近ガンブラの塗装を本格的にはじめた。

——二人は二次試験で小瀬高校に入学してきたけど、当時どんな気持ちだった？

龍星：正直「もういいや」という投げやりな気持ちでした。

将真：中学校の頃、周りの友達も含め、なぜか小瀬高校に良いイメージを持っていなくて（笑）最初は嫌だなと思いましたが、あまり何も考えていなかったかもしれせん。

——実際に入学してみるとどうだった？

龍星：僕が所属していた特進コースは、他の学校と比べて人数が少ない分、先生が弱点を把握してくれて自分に合った問題を用意してくれたので、そこがいいなと思学校の印象も変わっていきました。

——高校生活を振り返って特に印象に残っていることはある？

将真：やはり部活動ですね。野球部の主将を務めていましたが、一言で言うと本当に大変でした。その中でも監督がチームをまとめる立場としての考え方のヒントを出してくれて、

同じ学校で違う道へ

それぞれが夢を叶えた軌跡



～卒業生河野兄弟特別対談～

その言葉が今の自分にとって財産となっているし、人として成長できる経験になったなと思います。

——「小瀬高校は〇〇な学校」〇〇には何が入る？

将真：故郷ですかね。理由はシンプルで、卒業してからも学校に顔を出したくなるんですよ。先生一人一人にお世話になったので。自分にとっては大事な故郷の一部です。

龍星：贅沢な学校かなと思います。他の学校では経験できない様々な行事を生徒数が少ないからこそできたので、自分にとっても面白い経験ができました。

——最後に中学生へメッセージを。

龍星：自分の目の前にある課題をみつめてこなしていけば、おのずと道はひらけると思うので頑張ってください。

将真：どこの高校へ行っても自分の頑張り次第で道は変わってくると思います。小瀬高校は人数が少ない分、先生が個人についてしっかり教えてくれるので、地元に残って小瀬高校で頑張るのがいいと僕は思います。中学生のみなさんにはぜひ小瀬高校に入ってほしいです。



紙面に載せきれなかった対談の様子は
こちらから動画で見ることができます。
ぜひご覧ください！



河野将真 (R1年度卒業)
東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社勤務。
好きな食べ物はスイーツ系。
無人島に持って行くとしたらドラえもん。

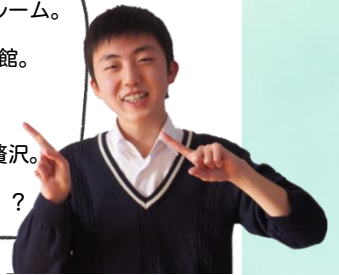
小瀬高校のみんなに

10人以上の先生と面接練習をしました！
希望した会社に内定をいただけて大満足！
(ネットヨタ栃木に就職内定)



3年 矢野夏希 (茂木中出身)

器具が豊富なトレーニングルーム。
きれいに整備された図書館。
充実した介護実習室。
小瀬高校の環境って実は贅沢。
知っていましたか・・・？



3年 寺門宏輝 (瓜連中出身)

2年 小室泰斗
(明峰中出身)

2年 河野竜馬
(明峰中出身)



2年 高澤亮汰
(明峰中出身)

部活動も1年生の頃から
活躍しています！

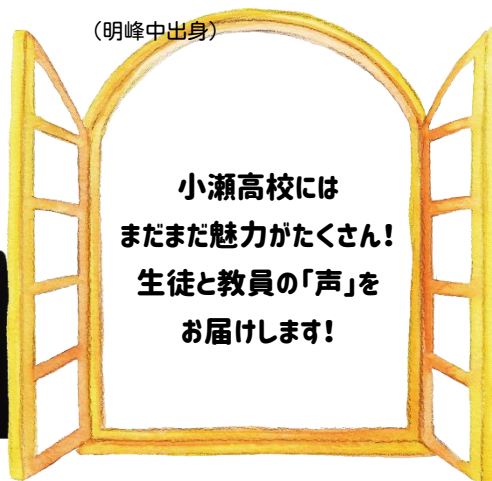
特進コースで
国公立大学を目指すぞ！

姉と兄の充実した高校生活を見ていたので
迷わず小瀬高校への進学を決めました。



3年 近澤史也 (茂木中出身)

小瀬高校には
まだまだ魅力がたくさん！
生徒と教員の「声」を
お届けします！



1年 岡崎諒
(明峰中出身)

1年 滑川 健介
(大宮二中出身)

僕は卓球と花いけの
両立にチャレンジ！

自分が相談したいときに
自分が相談したい先生に
安心して話せる。
先輩・後輩も仲よし。



3年 堀江美結
(明峰中出身)

わたしも小瀬高校を選んでよかった！



理科 益子緑

長い教員生活の中で
全校生徒の顔と名前が一致する学校は初めて。
生徒一人一人に寄り添う丁寧な指導ができています。

就職から大学進学まで
多様な生徒の希望を実現できる
学校他にはない！
自分のペースで学校生活を
送るなら絶対小瀬高！



社会科 上田英雄

福祉コースで学んだことを書いた作文で
県知事賞をいただきました！
自分に自信が持てるようになった！



3年 川野辺花音 (山方中出身)

聞いてみた！！